



2022年 8月30日
第34号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



イーハトーブ

8月30日号

2002年11月1日、JR総連・JR東労組を狙い撃ちにした大弾圧があった。JR東日本浦和電車区に所属する京浜東北線の運転士が、突然「強要罪」で逮捕され、344日間という長期勾留を余儀なくされた。2007年8月30日、係争中にも関わらず6名の仲間に対してJR東日本会社は不当にも労働者の極刑にあたる「懲戒解雇処分」を発令した。公判の中で、当時の現場管理者からも「何ら問題とは思っていなかった」と証言があったにもかかわらず、処分理由として「職場秩序を著しく乱し、会社の信用を著しく失墜せしめたものであり、社員として極めて不都合であるため」としている。

JR総連・JR東労組は沖縄や広島での平和研修など、労働者が安心して暮らせる平和な社会をつくるために積極的に活動してきた。取り調べのなかでは検察が「内から壊れないので外から壊す」「労働組合が平和活動をやるなんて生意気だ」「組織を半分にしてやる」と容疑内容からかけ離れたことを述べていた。この事件の目的は、平和・人権・民主主義を守り抜くJR総連・JR東労組そのものを弾圧し、破壊することであったことは明らかである。

夏の参議院選挙で改憲勢力が3分の2議席を超え、与党が大勝した。これから憲法改正に向けた発議の動きが加速していく。その本丸は憲法9条の改悪である。今まさに、平和を希求する労働組合を破壊し、戦争できる国へ転換するという「えん罪・JR浦和電車区事件」での目的が達成されようとしている。

当時を知らない仲間が多くなってきた。今一度学び直し、改めてこの事件の本質は何であったのかを共に振り返り議論すべきである。「えん罪・JR浦和電車区事件」を組織の力で守り抜いたことを教訓にし、組織の強化・拡大へ繋げていこう！（K・I）

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちが外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。